CVPハイブリッドヒーター

Dimplex®

取扱説明書

CVP21TJ

ご使用の前に

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも取り出せる所に大切に保管してください。

INDJPCVPRG Issue 3

もくじ

【安全上のご注意】

■この製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害の発生を未然に防止するための重要な情報です。記載事項（図記号等による表示）を必ずお守りください。

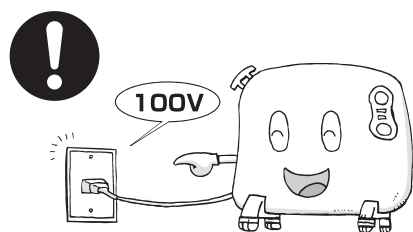
■注意事項は、誤った取扱いで生じることが想定される危害や損害の大きさと切迫の度合いにより、「警告」「注意」に区分しています。

警告	取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	取扱いを誤った場合、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

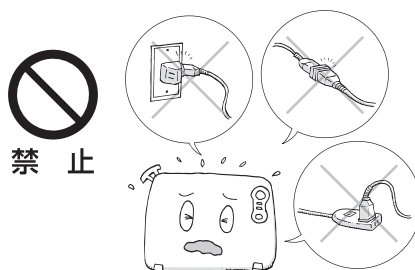
■図記号の例

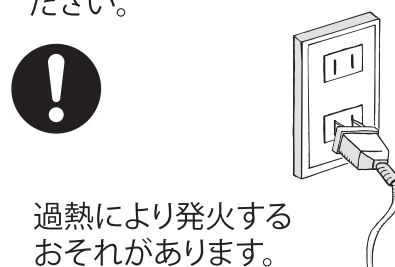
の記号は注意（警告を含む）を促す内容を示しています。（右の図は高温注意） 高温注意	の記号はしてはいけない内容を示しています。（右の図は分解禁止） 分解禁止	の記号はしなければならない（強制）内容を示しています。（右の図は電源プラグからコンセントを抜く） 電源プラグをコンセントから抜く

警告

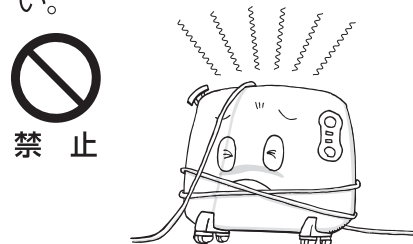
■電源は、100Ｖの壁のコンセントに電源プラグを直接に差込んでください。

200Ｖに接続すると、発火のおそれがあります。

■延長コードやマルチタップは絶対に使用しないでください。

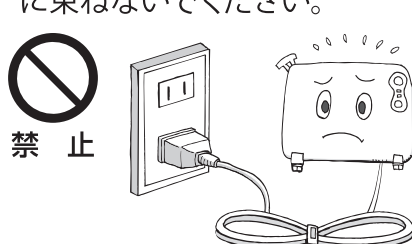
禁　止

コードやプラグ等が過熱して発火することがあります。

■電源プラグはコンセントの根元までしっかりと差込んでください。また、差込口のゆるいコンセントは使わないでください。

過熱により発火するおそれがあります。

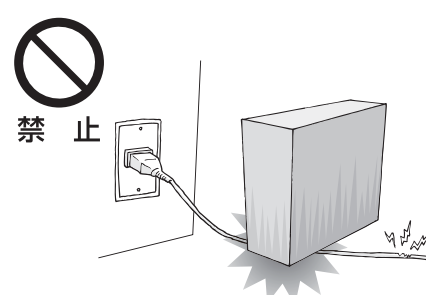
■電源コードを本体に掛けたり接触させたりしないでください。

禁　止

熱でコードが傷み、感電や発火の原因になります。

■コンセントが近くにあってコードの長さが余っても、絶対に束ねないでください。

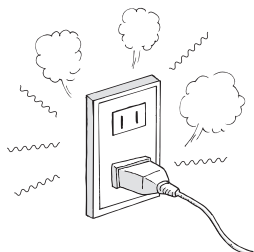
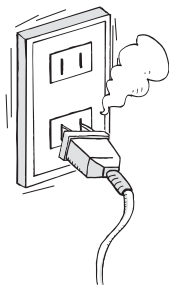
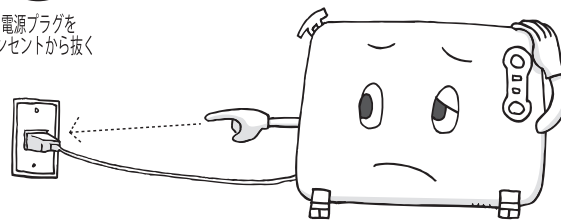
禁　止

コードの放熱ができず、過熱・発火の原因となります。

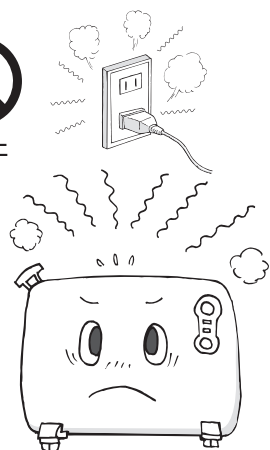
■コードに重いものを載せたり、傷付けたりしないでください。

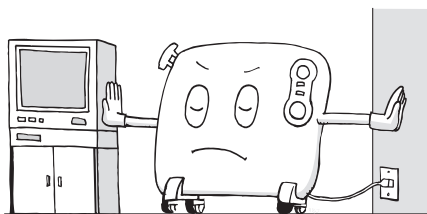
禁　止

発火の原因となります。

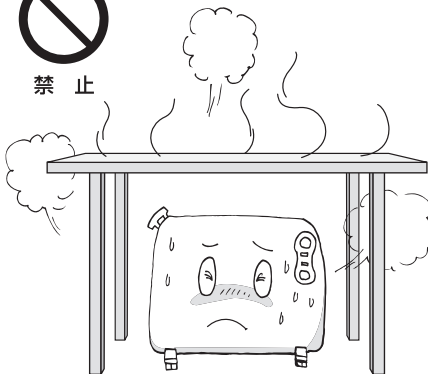
■次のような場合には直ちに使用を中止して電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、修理の依頼などを行なってください。

コードを動かすと電源が切れる。
（または、電源が入る）

コードやプラグが熱い。

使用し続けると発火のおそれがあります。

■シーズンオフや長時間使用しない場合には電源プラグをコンセントから抜いてください。また、プラグとコンセントの表面に汚れがあれば除去してください。

トラッキングによる発火や意図せぬ通電を防止するためです。
トラッキングとはプラグの二つの刃の間が汚れ、湿気などによりショートすることです。

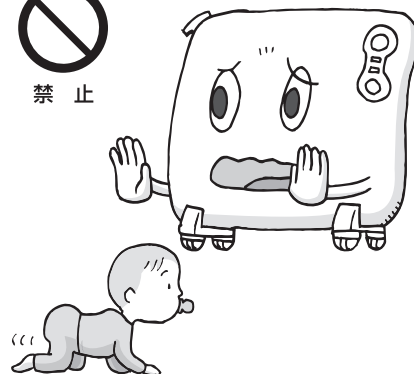
■コンセントのすぐ下では使用しないでください。

熱で電源コードを傷め、火災の原因となります。

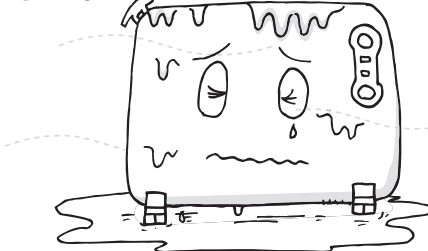
■本体の上・前後・左右に十分な空間を設けて設置してください。特に、カーテン・コンセント・壁・家具・家電製品等にはご注意ください。

火災・変形・変色・故障等の原因となります。

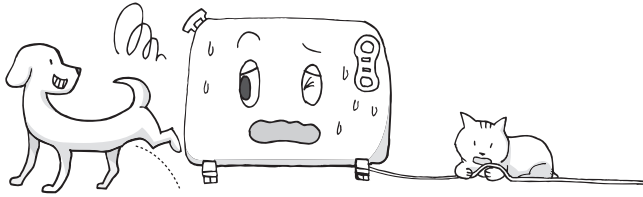
■押入れや机の下など、極端に狭い場所で使用しないでください。

故障や熱変形などの原因になります。

■布団や洗濯物を掛けないでください。

過熱により火災につながる恐れがあります。

■暖房中は幼児を放置しないでください。必ず保護者が監視してください。

高温の前パネル等に触らせないように配慮願います。

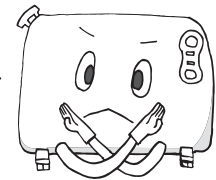
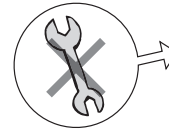
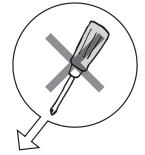
■水のかかるおそれのある場所や、湿度の高い場所に置かないでください。

水滴の付着や結露により絶縁の劣化をもたらし、感電の原因になります。

■犬・猫など、ペットの暖房用には使用しないでください。

歯や爪で電源コードを傷付けたり、排泄物が絶縁劣化を起こして、発火の原因になります。

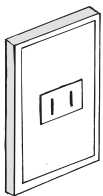
■就寝するなど、長時間にわたってヒーターの直前に居ることのないようにしてください。

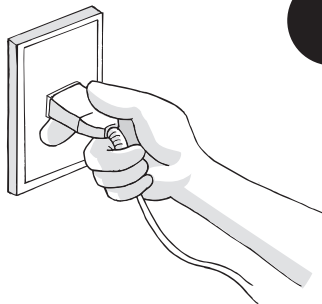
熱中症や低温ヤケドの恐れがあります。
幼児や泥酔された方には特に注意してください。

■修理技術者以外の人は、分解・修理を行なわないでください。

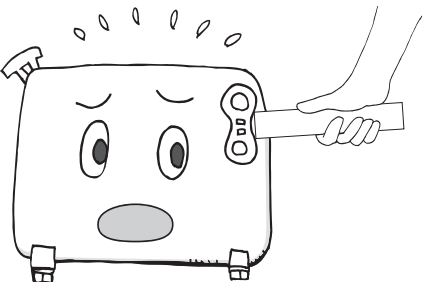
分解禁止

誤った修理を行なうと、発火や感電のおそれがあります。
本体に密閉されているオイルが漏れ出す恐れがあります。

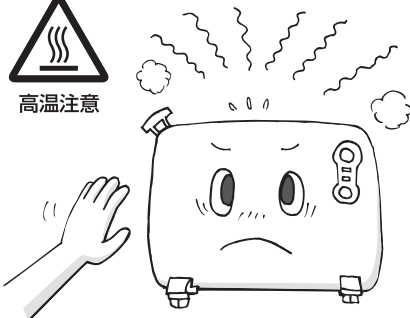
⚠注意

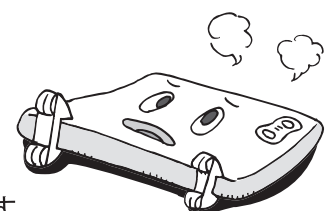
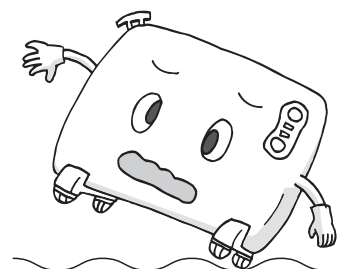
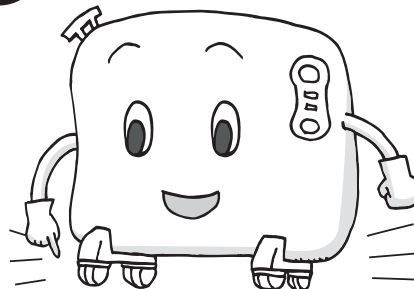
■ぬれた手で電源プラグの抜き差しやスイッチの操作を行なわないでください。

感電のおそれがあります。

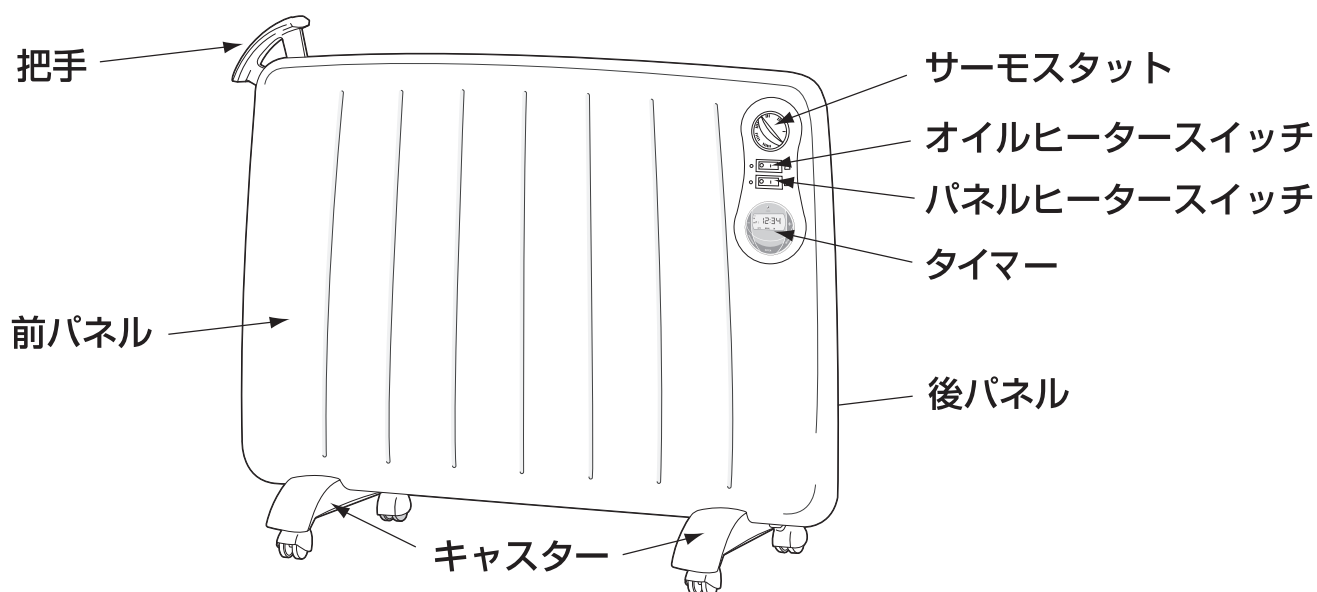
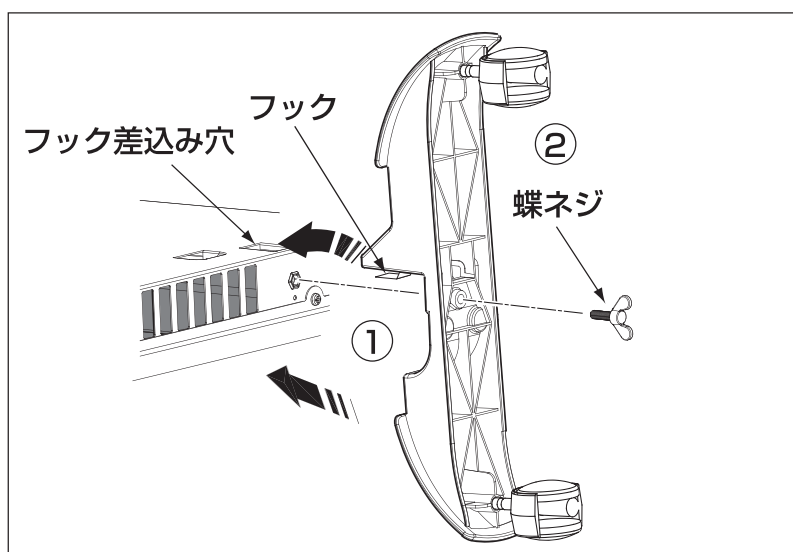
■電源コードをコンセントから抜く場合には、必ずプラグを持って抜いてください。

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷み、発火する原因となります。

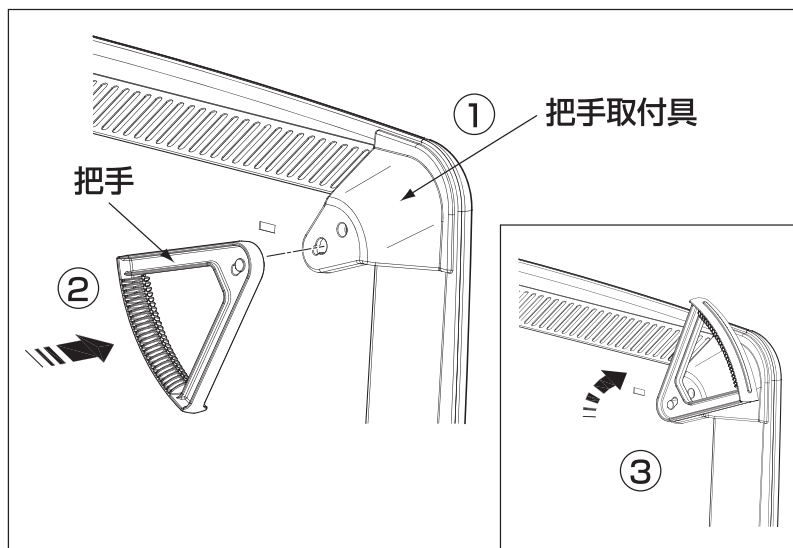
■外装の隙間から、異物を差し込まないでください。

禁　止

感電や故障の原因となります。

■前パネルなど本体の外装は高温になります。使用中には手で触れないでください。

幼児が触らないよう、注意願います。お手入れの際には、十分に冷えるまで触らないでください。

■据付は、水平で平らな場所にキャスターを使って正しく置いてください。

倒れるとケガをするおそれがあります。
横倒しでの使用では、火災の原因となります。

各部の名前

キャスターおよび把手の取付け方

①後パネルのフック差込み穴に、キャスターベースのフックを差込む。
②蝶ネジを締付ける。

※段差を乗り越える際にキャスターに衝撃を与えないで下さい。

①後パネルの左右にある把手取付具のうち、どちらかの１個を使用する。
②把手取付具のダルマ形の穴に把手の同形状の凸起を合わせて差込む。
③挿入部を中心にして把手を滑らかに回転させられることを確認する。使用する時は、使いやすい位置に回してください。

※把手でヒーターを持上げるなど、把手に大きな力を加えないでください。破損するおそれがあります。

設置の方法

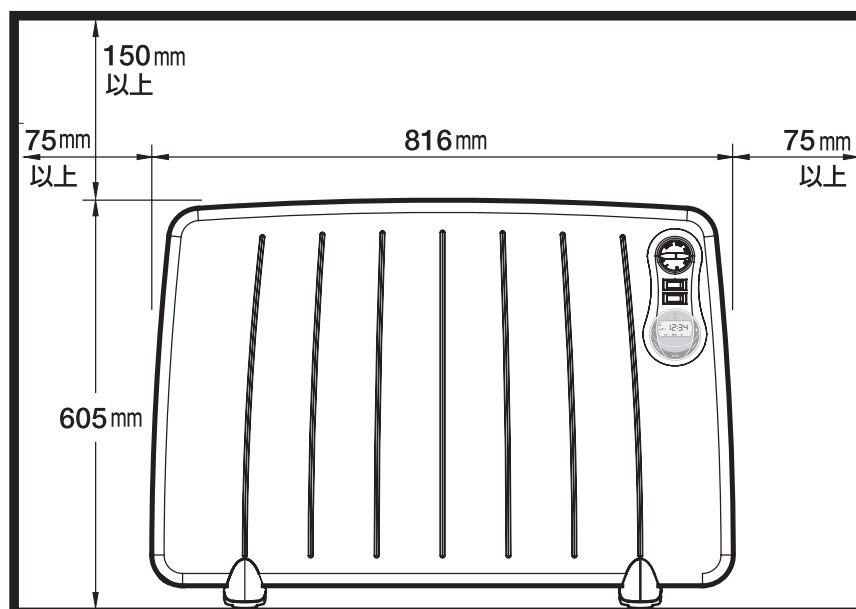
設　置

平らで安定した場所に設置してください。

上方及び左右には十分なスペースを設けてください。

棚の下などのように奥まった場所には設置しないでください。

前面には大きなスペースを設けてください。

遠赤外線の輻射効果が上がります。

運転のしかた

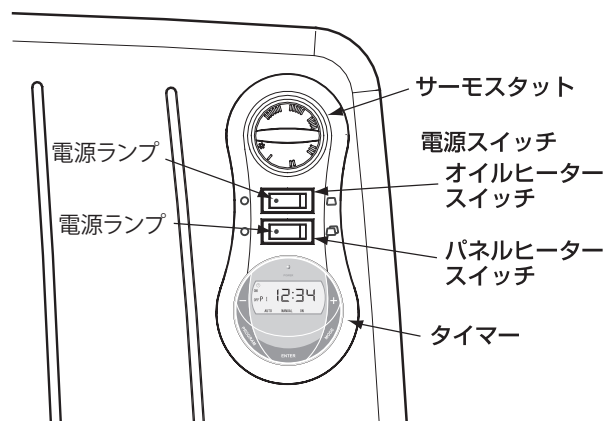
電源接続

電源プラグを壁のコンセントにしっかりと差し込みます。
延長コード類は絶対にご使用にならないでください。
長時間ご使用にならない場合には、電源プラグをコンセントから抜いてください。

サーモスタット

ヒーター電源を周囲温度により自動的に「ON」・「OFF」することにより、ご希望の室温に近づけます。
温度を上げたい　→　右側にまわす。
温度を下げたい　→　左側にまわす。
暖房の立ち上がり時には高温側に回し、適温に温まった後、再度調整すると効率よくお使いいただけます。
つまみの※印にセットした場合には、5℃程度の室温にし、お部屋の凍結を防止することができます

電源スイッチ

電源スイッチＢ（上）がオイルヒーターのランプ（450W）
電源スイッチＦ（下）がパネルヒーターのランプ（550W）です。
「電源ON」　→　電源スイッチを右に倒してください。ランプが点灯します。
「電源OFF」→　電源スイッチを左に倒してください。ランプが消灯します。
※B・Fスイッチは、それぞれ単独、及び同時に使用することが可能です。
※サーモスタットが作動し、自動的に電源OFFになると電源スイッチランプが消えます。
※工場出荷時の場合、電源スイッチのランプが数分間点滅することがあります。

運転のしかた

タイマー運転

デジタルタイマーによりヒーターの入切を自動的に行うことができます。

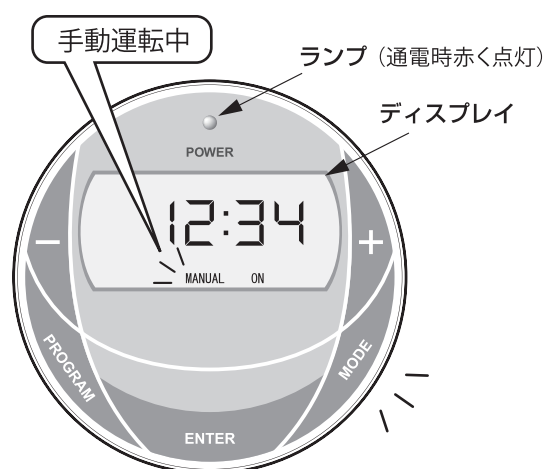
コンセントに電源プラグを差し込むとPOWERランプが赤く点灯します。電源スイッチを ON(入) にしなければ、タイマーが ON(入) になってもヒーターには通電されません。

1 手動運転とタイマー運転

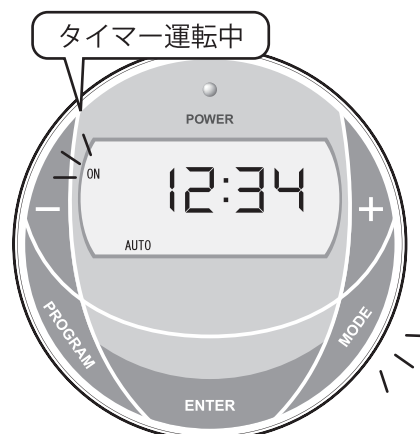
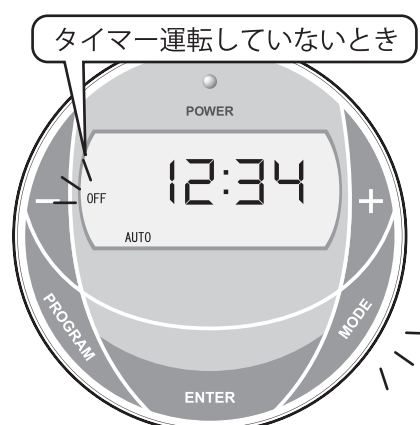
MODE ボタンを押すとタイマー運転モード「AUTO」と手動運転モード「MANUAL ON」に切り替えられます。

■手動運転モードにしたい場合

MODE ボタンを押してディスプレイ下部の表示を「MANUAL ON」にします。

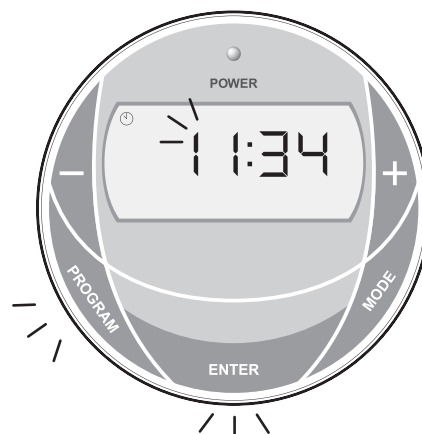
この状態で手動運転になりますので、ヒーターの入切は、パネルヒーター、オイルヒーターの各スイッチによって行います。

■タイマー運転モードにしたい場合

MODE ボタンを押してディスプレイ下部の表示を「AUTO」にしてください。

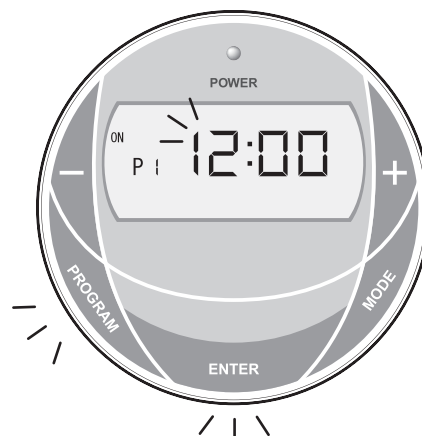
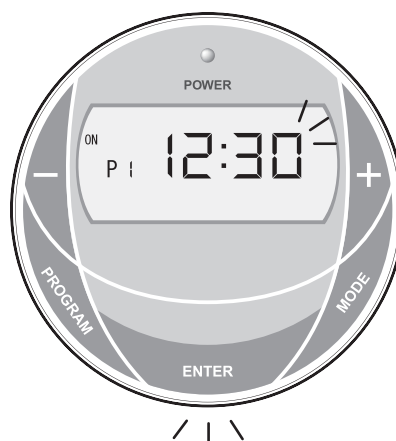
※現在時刻とタイマープログラム設定をしていないと運転できません。P8以降を参照してください。

タイマー運転中は「ON」が表示されます。タイマー運転していない時は「OFF」と表示されます

運転のしかた

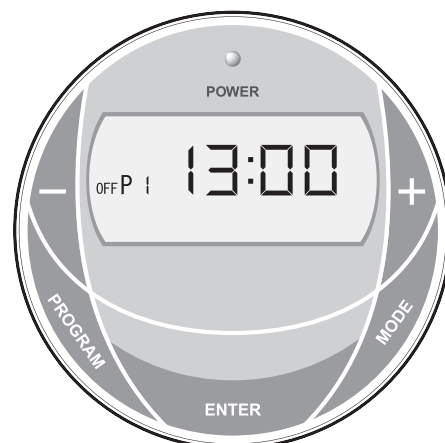
2　現在時刻の設定

①PROGRAM ボタンを押すとディスプレイ左側に時計マークが表示され、時間が点滅します。

②＋－ボタンで時間を合わせ、ENTER ボタンで決定します。 時間を決定すると次は分が点滅しますので＋－ボタンで分を合わせ、ENTER ボタンで決定します。

3　タイマープログラムのセット

タイマー運転を行うためには、「P1」PROGRAM1、「P2」PROGRAM2、「P3」PROGRAM3、「P4」PROGRAM4の4つのタイマープログラムで電源のON時刻、OFF時刻設定を行ってください。タイマープログラムの設定は下記説明を参照ください。タイマーの時刻は10分単位での設定のみとなります。
※P10以降のタイマープログラム設定例も合わせてご参照ください。

① PROGRAM ボタンを2回押します。ディスプレイ左側に「P1」と「ON」が表示され、1番目の電源ON時刻の設定ができます。時間表示が点滅するので＋－ボタンで時間を設定し、ENTER ボタンで決定します。

②次に分が点滅するので同様にセットし、ENTER ボタンで決定してください。
（分は10分毎の設定となります）これで1番目の電源「P1」（PROGRAM1）の「ON」時刻の設定が完了します。

運転のしかた

③「P1」と「ON」の設定が終わると次に「P1」と「OFF」が表示され、電源OFF時刻の設定となります。電源ON時刻と同様の操作でセットしてください。
以下、「P1」「P2」「P3」「P4」と、最大４つのON時刻、OFF時刻のタイマープログラムがセットできます。

※各タイマープログラムは24時間の時間設定が可能です。但し、日にちをまたがる時刻の設定をする場合は、複数のタイマープログラムを使用しなければなりません。

〔例〕PROGRAM1のみで夜11：00に「ON」翌朝05：00に「OFF」の設定はできません。
この場合は「P1」「ON」11：00、「P1」「OFF」11：50、「P2」「ON」12：00、「P2」「OFF」05：00と設定してください。

※一部のタイマープログラムを使用しない場合、(「P1」と「P2」を使用し「P3」と「P4」を使用しない場合) は、使用しないプログラムの入切時刻を00：00と設定し、ENTER ボタンを押し、それぞれ「ON」と「OFF」の設定を終了し次に進んでください。

※タイマープログラム設定画面中の状態から通常の表示画面に戻したい場合は、PROGRAM ボタンを押してください。

※複数のプログラムで設定時間が重複しないようにしてください。重複すると正常に作動しません。

〔例〕「P1」設定8：00〜12：00、「P2」設定10：00〜15：00・10：00〜12：00の時間帯が重複している場合タイマーが正常に動作しません。

運転のしかた

4　タイマープログラム設定の例示（18：10 に電源 ON、22：30 に電源 OFF）

下記に 1 つの PROGRAM で電源 ON 時刻と OFF 時刻を設定する方法を説明します。

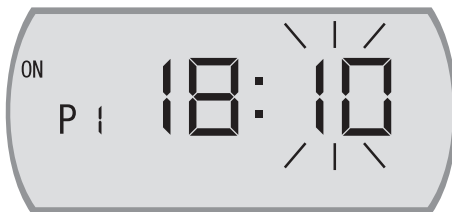
①PROGRAM1 の電源 ON 設定

PROGRAM ボタンを 2 回押す。画面に「P1」と「ON」の表示がされ、時間が点滅する。

②PROGRAM1 の電源 ON の時間設定

＋ − ボタンを押して 18 になるよう設定し、ENTER ボタンを押して決定する。

③PROGRAM1 の電源 ON の分設定

次に分が点滅するので時間と同様の操作で 10 になるよう設定し、ENTER ボタンを押して決定する。（入時刻の設定完了）「P1」と「OFF」と画面に表示されていることを確認する。

④PROGRAM1 の電源 OFF の設定

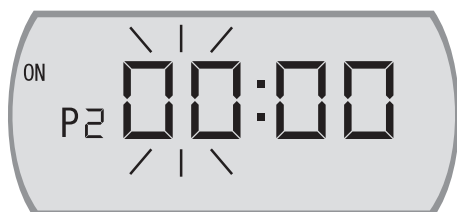
＋ − ボタンで時間を 22 になるように設定し ENTER ボタンを押して決定する。次に分を 30 に合わせて ENTER ボタンを押して決定する。（入時刻の設定完了）

⑤PROGRAM1 の電源 OFF の分の設定

次に分が点滅するので時間と同様の操作で 30 になるように設定し ENTER ボタンを押して決定する。（切時刻の設定完了）

運転のしかた

⑥PROGRAM2以降の電源ON、OFFの設定および時間・分設定

1番目の設定完了後、「P2」と「OFF」 が画面に表示されます。2番目以降も設定したい場合は、①～⑤と同様の操作で時刻設定を行なってください。2番目以降を使用しない場合は、使用しないプログラムの時間を全て「00：00」に設定してください。

5　ランプ

「MANUAL ON」手動での　ON （入）およびタイマー運転での ON （入）（プログラムでの設定「ON」時間）になっている時にはPOWERのランプが点灯します。

6　タイマーのバックアップ電池

①電源プラグを抜いてもタイマーの設定内容や時刻を記憶する為の電池を内臓しています。

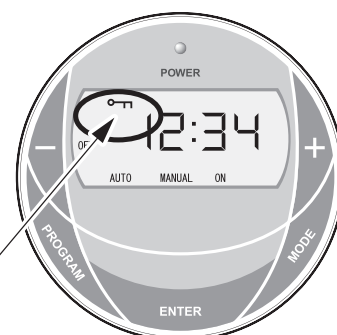
②電源プラグを約48時間コンセントに差し込むことにより満充電となります。

③電源プラグを抜いた場合にも、2000時間程度は設定を保持できます。長時間プラグを抜いたままですとバックアップ電池の容量を使い切ってしまい設定が消えてしまいます。
電源プラグをコンセントに差し込んでから、時刻等の設定をやり直してください。

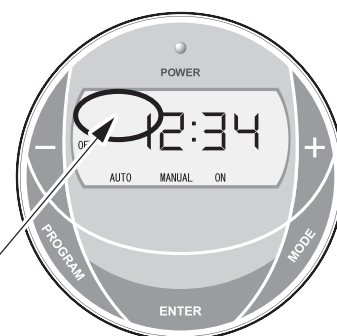
7　チャイルドロックの使い方

①チャイルドロックの設定

ENTER ボタンと MODE ボタンを同時に押すとチャイルドロックを設定することができます。液晶画面左上に「○┳┳」のマークが表示され、タイマー及び時刻設定の変更ができなくなります。

「○┳┳」マーク点灯

②チャイルドロックの設定

ENTER ボタンと MODE ボタンをもう一度同時に押すとチャイルドロックを解除することができます。
液晶画面左上の「○┳┳」のマークが消えます。

「○┳┳」マーク消灯

運転のしかた

高温注意

①前パネルなど本体表面は高温になります。
幼児などが触れることのないようご注意ください。

②ヒーターの直前で就寝されますと、熱中症等の恐れがあります。
幼児・お年寄り・泥酔者へのご使用には、周りの方が充分に配慮してください。

お手入れのしかた

1 電源プラグをコンセントから抜き、各部が充分に冷えてから行なってください。
2 柔らかな布に水を含ませ、硬く絞ってから拭いてください。
3 汚れがとれないときには薄めた中性洗剤を使用してください。
4 クレンザー・シンナー等は表面を傷つけます。
5 操作部や内部には絶対に水がつかないように注意してください。
6 スイッチランプの表示を強くこすりますと消えることがありますのでご注意ください。

保管のしかた

1 ホコリが入らないように、付属のコットンカバーをお使いください。
2 ホコリの少ない、乾燥した場所で保管してください。

電源コードの点検

1 時々ご使用中に電源コードの安全点検を行なってください。
2 下記の症状の場合には使用を中止してください。発火の恐れがあります。
①電源コードが熱い。
②電源コードを動かすと電源が切れたり入ったりする。
3 修理は必ず販売店または当社へ依頼してください。
誤った修理は火災につながります。

故障診断

症　状	原　因	点検・処置
電源が入らない	①プラグの外れ ②ブレーカー落ち ③電源スイッチが「切」になっている。 ※タイマー付の場合 ①タイマーの入時刻になってない。 ②チャイルドロックがかかっている。	①正しく差し込んでください。 ②原因を調べてから復旧させてください。 ③タイマー設定を直してください。 ※タイマー付の場合 ①タイマーの設定を直すか、又は Ｍａｎｕａｌ ONにしてください。 ②ロックを解消します。(P11を参照してください)
部屋の暖まり方が不十分	①カーテンや家具等で空気の流れが阻害されていないか？ ②部屋が大きすぎる ③すきま風。 ④サーモスタットの設定が低温 ⑤電源スイッチのひとつが「切」である。	①障害物を取り除いてください。 ②置き場所を変更してください。 ③補助暖房機を追加してください。 ④ダイヤルを右に回して高温にしてください。 ⑤両スイッチを「入」にしてください。
異臭	初期の段階には臭いを感じることがある。	１日程度のご使用で解消します。 数日経っても解消しない場合は当社へご連絡ください。
タイマー表示が出ない	タイマーの充電容量切れ 長時間ご使用がない場合、再度充電の必要がある。	電源プラグをコンセントに差し込んで設定をやり直してください。 （コンセントに差し込んで約３分程度でお使いいただけるようになります。）
異音	① カチンと音がする。 サーモスタット入切の作動時、カチッと音がする場合があります。(室温・パネル用の) ① ゴンと響くような音がする オイルに含まれている微量の水分がヒーター内部で気泡となって弾ける音がする場合があります。 ③ ピシっと音がする 電源入れた後、及び切った後、またはサーモスタットが効いたとき、温度変化による部材の膨張・収縮により音がする場合があります。 上記の場合は故障ではありません。	左記に当てはまらない場合、または連続音がする場合には当社へご連絡ください。
電源プラグが熱い	①電源プラグの異常 → 使用中止 ②コンセントの異常 → 使用中止	触っていることが出来ない程度熱い場合には電源プラグまたはコンセントの故障が考えられます。 ①販売店または当社へ修理依頼をしてください。 ②電気工事店へ修理依頼してください。
電源コードが熱い コードを動かすと電源が入/切。	連続して触れないほど熱い。→ 使用中止 コードを動かすと電源ランプが点いたり点かなかったりする。→ 使用中止	電源コードの半断線が考えられます。販売店または当社へ修理依頼してください。
ブレーカーが働く	使用電力が多すぎる。 契約電力以上の電力を使用。	接続機器を減らしてください。又は契約電流を増やしてください。

アフターサービス

1　使用中に異状が生じた場合には、直ちにスイッチを切り電源プラグを抜いてお買上の販売店または当社へご相談ください。
2　保証期間内の修理については、保証書に基き無料で行ないます。
3　保証期間経過後の修理については、修理により機能が維持できる場合にはお客様の要望により有料で修理いたします。
4　この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
5　販売店または当社へご相談される場合には、下記の内容をご連絡ください。
　①　製品名、品番
　②　症状
　③　お買上年月日（保証書に記入）
　④　お客様名、ご住所、電話番号
6　内蔵オイルについて
　①　CVPハイブリッドヒーターには不燃性の特殊オイルが充填されています。
　②　オイル容器を開けての修理はできません。
　③　製品を廃棄するときには、オイル処分に関する自治体の規則に従ってください。
　　不明な場合には当社お客様相談窓口までお問合せください。

お客様相談窓口〈受付時間：平日９時～17時〉

フリーダイヤル TEL 0120−583−570　FAX 011−783−7747

株式会社ディンプレックス・ジャパン

メールアドレス info@dimplex.jp/　ホームページ http://dimplex.jp/

仕　様

項目	内容
製品名	CVPハイブリッドヒーター
品番	CVP21TJ
本体色	ホワイト
タイマー	あり
適用畳数	3畳（木造住宅）～8畳（コンクリート住宅）
電源	100V　50/60Hz
消費電力	1000W（オイルヒーター450W　パネルヒーター550W）
外形寸法	高さ605㎜×幅816㎜×奥行き288㎜
電源コード	1.8m
製品質量	12.5㎏
付属品	キャスター1式[車輪付キャスターベース（２）、蝶ネジ（２）] 把手（１）、コットンカバー（１）
生産国	イギリス